

高齢期に出た顔と手の症状を経て顔症状が短期間で落ち着いた成人アトピーの経過 (65 歳 女性)

症例 ID：001-60-MIK | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

若年期には皮膚症状がありませんでしたが、高齢期に顔の赤みと腫れが出ました。受診前には大学病院などで皮膚治療や注射を受けた経過があります。1994 年 3 月 23 日に松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	受診前に皮膚治療と注射を受けた経過があります。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	1994 年 3 月頃です。
来院前／後	来院前に使用歴がある可能性があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
1994 年 3 月 23 日	治療開始	顔の赤みと腫れに対し、外用処置と煎じ薬を開始しました。
治療約 4 日	顔症状の変化	顔の症状が落ち着きました。
その後	手症状	症状が手に出て、綿手袋とゴム手袋を使用して家事を行いました。
同年 7 月～翌年	併用治療	夜間のかゆみがあり、鍼灸も併用しました。
記録時点	経過中	手の症状に対する治療を続け、煎じ薬も継続していました。

4. ピーク時期

ピークは、症状が手に出て夜中に何度も目が覚め、入浴で対処していた時期です。

5. 困りごと

- 手症状のため、綿手袋とゴム手袋を重ねて炊事や洗濯を行いました。
- 夜間のかゆみで何度も目が覚めました。

6. 経過のまとめ

顔の赤みと腫れは治療開始約 4 日で落ち着きました。

その後は手の症状に対する治療を続け、記録時点でも煎じ薬を継続していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。